



犬王女

イヌになったオウジョさま

I・II・III



犬王女

イヌになったオマジヨウマ

I・II・III



犬王女

イヌになったオマジヨさま

I・II・III



犬王女

イヌになったオウジョさま

I・II・III



sin
maniax.

DRAGON QUEST 2 CÔTÉRIE CÔMÎC "MA+ING PRINCESS".
CAUTION! PERSON OF LESS THAN AGE OF 18 CANNOT BUY THIS CÔMÎC.
PRESENTED AND DESIGNED BY "SIN MANIAX" AUGUST 2009.

犬

になつた
王女さま

MA+ING PRINCESS



成年
コミック

犬 になつた 王女さま



MAKING PRINCESS.

ぼうけんのしょ

- ▶ さいしょからはじめる
- つづきからはじめる

かつて
ロトの血を引く若者が
邪悪な竜を打ち倒し
世界を救ってから
百年の月日が流れ

ロトの子孫達は
海を越え大陸各地で
それぞれの王国を築いた

ここはムーンブルク
美しい自然に囲まれ
やさしい人々が暮らす
平和な国

いいえ……
平和だった国





この日迄は——



ん……
ウ……ン……?



——裸?

えっ!?

おっ
おっ

格……屈……
何だ……?

あら？
やっとお目覚め
ですか……



フフ...

初めまして...かしら?

お姉様♡

そ、そんな...

私.....?

そう...

私はアナタ...ムーンブルクの王女様♡

アィ



私は——
王女になんて
なりたく
なかったのに



10 D..

何って？
只のおクスリよ
お姉様が素直になる
お・く・す・り♡

フフツ...



な、何を...ゴホッ



な、何？
体が...熱い？

やっ!?



やあああっ!!

ダメっ!
何かっ...来るっ

ゴッゴッ



あらあら
こんな所で
おもらしなんて

はしたない
お姉様ですこと♡

こんなの…

こんな事
望んでなんかかない…

私は…
ただ普通の女の子みたく
笑ったり喜んだり
したかっただけなのに…

ええ♡

うかがってますわ



だから…

教えて
さしあげるの

女の子
の喜びを—

!?

浮いて…
魔法—?

あっ?

やっ!
見ないで!

王女様じゃ
味わえない

弄られ

蹂躞され

貶められる

快楽をお♡

クク

クク



ははあ

その代わり

ビクン

無理矢理に奪うなんてもったいない
お姉様には破瓜の痛みも快楽として味わって頂きたいもの
だから…処女はまた今度

やっやめ

ご心配無く♡

こっちの処女もいただきますわ♡

ふあっ!?

あああああっ!!

ズン

あはっ♡
お姉様のおしりグチヨグチヨですわ!

やめっ
そんなこと

んあっ!?

どんどんお汁が溢れてきて…キモチイイんですね♡

そっそんな事っ

ありません





アハハッ
ステキよお姉様♥

はじめてのお尻で
こんなに乱れてっ

王女様とも
あろうお方が
お尻の穴犯されて
喜ぶなんて

ああっ♥
ごめんらしい
おひりで
かんじてるのお♥

皆が知ったら
なんて思うかしらっ

んめめっ♥
おちんちん
すごいっ
きもちいいっ♥
うんちあな
じゅぽじゅぽ
きもちいいのあっ♥



あはっ♡

イキそうなのですね？

あはっ♡

お姉様の
子宮がイキたいって
ヒクヒクしてますわ♡

シキユ…ウ？

ズルウん

そう—
子宮でイクととっても
キモチイイの

場所は…

ムム♡

ムム

ムム





この時
薄れていく意識の中で
感じました……



次はもっと
楽しみましょう？
メスの喜びを……ね♡

もう
王女では
なくなったのだと

あらあら……
これくらいで
気を失うなんて
しょうがないお姉様……
フフ……
いっせしろう

そして――

さあ……お姉様
外で皆が
待っていますわ

私は……

犬になりました

早く元気なお姿を
見せてあげてくださいいな

フフツ

はい ♡

王女様……

おうじょ

メスイ棍

The End



犬
になつた
女王さま
ま



成年
コミック

犬🐾になっ た 王女👑さま ま



ぼうけんのしょ

さいしょからはじめる

▶ つづきからはじめる

▶ いぬになったおうじょさま I

「んっ……
はあっ……はあっ……」

『ごきげんようお姉様
フフ…素敵な格好…
まるで牝犬みたい♡』



「そんな…これはあなたが…」
『あら？そんな事
おっしゃるなんて悲しいですわ
私はお姉様が素直になる
お手伝いをしているだけ
それに…コッチはこんなに
素直になったのにな』

「んあっ♡」
『ウフフ…これくらい素直になって頂ければ
国民を人質に取ったりなんてしませんのに…
まあ、国民はおろか国王ですら
お姉様と私が入れ替わったことに
気付いていませんが♡』

「そん、な…あはあっ♡」
『お忘れになったのかしら？
私はお姉様から生まれた、もう一人のムーンブルクの王女…
お姉様は王女でありながら、淫らな欲望を
「やめてっ!!!」』

「ふふ、まあ良いですわ…
もうすぐ素直な牝犬になるのですから
存分に楽しみましょう♡」

『さあ…お姉様♥』

『美味しい餌を差し上げますわ
どうぞ、召し上がりください♥』

「うっ……これは……？」
『ああ、先ほどお城の皆様のお相手をして差し上げましたのその時に頂いた精液ですわ♥』
「精液……？」

うっ
うっ
うっ

「ええ♥皆様随分と王女様に
淫らな想いを抱いておいででしたので
私が替わりに慰めてさしあげましたの♥」

「そんな…嘘」
「あら？嘘だなんて心外ですわ、
皆様、大好きな王女様を犯せて
お喜びでしたわ♥」

「それに、ホラ！
お姉様がお飲みになった精液には
國王オウキウに射精シキョウしていただいたのも
混じってるんですのよ♥」

「あ、ああ…お父様あ…」



『フフ…可愛そうなお姉様…
信じ守ろうとしていた国民に欲望の対象として見られ
さらに、尊敬していた国王お父様にまで…』
「うっ…うう…そんな…
うああ…嫌あ…」

『お分かりになったでしょう？
人間は皆、淫らで背徳的な欲望を持っているもの
お姉様が自らの欲望を否定しなくてもよいのですわ
だから、もっと素直になりましょう？』

「なんで…こんな…」
『あら、言つたでしょう？
私はもう一人のムーンブルクの王女
だから、私の願いはお姉様の願い、
お姉様が自らの欲望に素直になれるように
お手伝いして差し上げるのが私の役目！』

『さあ、素直になりなさい…
使命も何もかも全部忘れて、
欲望の…牝の本能の赴くままに…』
「あ、ああ…」

『きもちよくなりましょう…』

「んっ…んんっ♡」

「じゅる…じゅるっ♡」

「ふふ…お上手ですわお姉様♡
いかがですか？精液のお味は？」

グビュ

「それでは素直になれた
お姉様に…んんっ♡」

「んんっ…はあっ♡んんっ 美味しいです♡
すごく生臭くて、飲み込むと喉に引っかけた
喉を精子に犯されてるみたい♡」
「フフ、随分と素直になられて♡
欲望に身を任せるのは素晴らしいでしょう？」
「ああっ♡はいい素敵っ♡
素直になるの気持ちいいっ♡」

ズル
ズル
ズル

「♡褒美を差し上げますわ♡
今度は私のをたっぷり味わってくださいな♡」

「ああ…おちんちん♡…こくっ」

「あらあら、待てと言っても聞きそうにありませんわね
しょうがない牝犬だこと♡」

「ごめんなきい…でも…もう…」

「ええ、ご褒美ですもの…どうぞ召し上がれ♡」

「はいっ♡」

じゅるうっ

Chubby

「んぶっ…じゅるっじゅるるるう」

んうっ♡んちゅっ…ぶはあっ♡

ずちゅうううううううううう♡

ちゅううううううううううう

「くうっ♡すこいがっつきよう♡」

んっ、私もう限界のようですわ…」

「ふあいつ♡くらさつ♡」

のろのおくにせーしっ♡

びゅーってらしてくらさつ♡」

「くっ!!」

びゅーうううううううう!!

!!



いっしょに
あめあめ

「んっ♡んっ♡んっ♡」

んっ♡

んっ♡

んっ♡

「あらあら、喉の奥に射精されてお漏らし？
はしたない牝犬ですこと♡
「ぶはっ！はあっ♡んっ♡んっ♡んっ♡
あはあ♡こめんなさい♡」

「やっと素直になったと思えば…
だらしない牝穴にはお仕置きが
必要のようですわね♡」
「ああ…はっ♡」

「わ、私は…オチンポと
精液が大好きな淫乱な王女
いえ…牝犬ですう♡」

「お口に射精されたただけでお漏らししてしまう
しまりのない牝穴をオチンポで塞いでっ
お仕置きしてください♡」

おま

『ふふ、よく出来ました♡』

プチプチプチッ

「あぐっ！」

『あら？そりゃいえは初めてでしたわね♡
あまりに淫乱なので忘れてましたわ♡』

ズチュッググプッ

「あっ！ごめんな…さいいっ！
ひぐっ！いんらんっ処女でっ！
んへああっ！？」

おま

「んあっ! あっ? ああんっ♡」
「ふふっ♡ 気持ちよさそう、な泣き声出して
どうしたのかしら?」

「ひぐう♡ おちんぽお♡
おオマンコの奥に当たると
あっ♡ 頭がじびれて
ああんっ♡ イタイのに
キモチイイのおおっ♡」

ぶるん

びびるん

ぶるん

「まったく、お仕置きですのに
痛いのが気持ちイイなんて…♡
ふふ…でしたらもっと痛くして
差し上げますわ♡」

「あっ? やあっ…」
「ご心配なく…でもその前に」

「え…? ホイ…ミ?」

おま

ズルん

ズルん

「ええ♥破瓜の傷を治してさしあげましたの♥
もちろん処女膜も元通りに…そして
また奪ってさしあげますわっ!!」

「ひぐううううっ!!」

ずちゅっグププツ

「あはははっ♥いかがですお姉様?

処女を失い続ける痛みはっ!!」

ミチミチイッ

「あぎっ!!ふうっ…んっ♥

ああああああっ♥」

「あはっ♥素敵ですわお姉様っ♥
処女膜破られて感じるなんてっ!!」

フシヤアアアアアアア
「はひひいっ♥さっき生まれ処女らったのにい♥
処女膜破られてキモチイんいれすうっ♥」
「うふふっ♥これならどんなモノでも
受け入れられそうね♥」

「いいですわ♥
そろそろ止めを刺してあげます♥
イキ狂いながら孕みなさいっ!」
「はひっ♥ はらみませう♥
しよじよまんこになかだしされて
にんしんしますう♥」

「あはあああああっ♥」



「フフ…素敵な格好…本当に牝犬ね♡
そんなお姉様にお願いがあ
るの聞いてくださるかしら？」
「おねがい？」
「ええ、お姉様には繁殖用の牝犬に
なっただけでいい♡」

「はんしよく…？」
「そうですね、いろんな人が
お姉様を孕ませてくださるの…
たくさん交尾してたくさん妊娠する…
素敵でしょう？」
「ああ…うん…♡」

「だから、王女のお仕事は私に任せて
お姉様は立派な牝犬になっただけでいいの
お願いできるかしら…お姉様♡」

「はあら♡
おうじよきあめ♡」



『はい……ムーンブルクは落ちましたわ……
いえ、今はムーンペタに……はい……
可愛がってもらっているようです……
ええ……優秀な子を産んでもらいますわ……
ロトの血を受け継いだ魔物を……ね……』





犬 skull iconになつた
女王 crown iconが
ま crown iconま crown iconま crown iconま crown icon
III
-3-

成年
コミック

犬🐶になつた 女王さま



ぼうけんのしょ

さいしょからはじめる

▶ つづきからはじめる

いぬになつたおうじょさま I

▶ いぬになつたおうじょさま II

米米米米米米米米米米米

ムーンブルクだって？

知らないのかい？
あそこは魔物に滅ぼされちまって
人っ子一人いやしないよ…

王女様も行方不明って話だし
今頃どうなってる事やら…

…ああ、そういえば

お城が滅ぼされた頃からかね
町外れの小屋に野良犬が
住み着いたって噂だよ

まあ行ってみるのも
いいけどね…
十分気を付ける事さ

ひっひっひっ





カッ

!!

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

ギョッ

お帰りなさいっ
ご主人様っ ♡

あ... ♡

カッ



それは…
ご挨拶をさせて
いただきますね

?

あ…ひょっとして初めて…
ここめんなさい！



!?

??



あは♡

大きくなってる
うれしいです♡

交尾用のメス犬は
一年中発情期
なんです♡

初めましてご主人様♡
私は交尾用のメス犬です♡



フッフッそれでは
こちらにもご挨拶を…

だから、今日は
いっぱい交尾して
たくさん気持ちよく
なっ♡たいわいね♡



おいしいそうな
ゴハンがこんなに♡

ムアッ

だって…

あぁっ隠さないで
私、包茎チンチン
大好きなんです♡

あせあせ

あ♡
包茎さんなんでもね
かわいい♡



ムアッ

それに…

はあ♡
おいしい♡
臭い♡

ムアッ



おめ♡
おめ♡

ムッ♡
ムッ♡

んっ♡

いただきます♡

ムッ

ムッ

あ♡

「リッチな味…」

みーつけた♡

ジュッ

あめあめ♡
お汁の味♡

んぷっ♡
ジュルッ♡

ジュルルルッ♡

ろづつれふ方あ♡
めしゅ犬の
お口まんごあ♡

んぷっ♡
いっめくせんわん♡

わらわもあ♡
排卵しちゃいねあ♡

ジュルルル♡

!!

ジュッ

ジュッ

ジュッ

んぷっ♡

んぷっ♡

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ





あくちマンコ
の次は…

さあ
ご主人様…
横になつて♡

メス犬マンコで
ご奉仕させて
いただきます♡

ほおほ♡

見えますか？
私の処女膜♡
破れる度に
治癒魔法をかけてたら
伸びきっちゃいました♡

もちろん
オチンポだつて…♡

指だつて簡単に
入るんぢやない♡

それにホラ
ご主人様の精子欲しん
子宮もここまで
降りてきちゃってます♡

ぐわんぐわん



はあっ♡
もう我慢
できません…

ん♡

ああっ♡

おとなチンポに
レベルアップ
しましたあ♡

ズッ



んひあああ♡

ご主人様の重貞チンポ
発情メスマンコに
入れちゃいます♡

ん♡

あああ

ホッ

ホッ

いっけい
種付けして
ご主人様の赤ちゃん
孕ませてくださいね♡

ん♡



ご主人様もあ♡
好きなのでイって
くださいねえ♡

ん♡
それじゃ
動きまわね♡



あはあ♡
イっ♡
あはあ♡



ご主人様のちんぽ♡
メス犬子宮と
キスしてるの♡

ん♡
あ♡
ん♡

あ♡

200♥C#EIN255♥
あははははは

お汁吸こん
Yのびるるるる♥

あははは♥

お風呂の睡ごん
わめらるるる♥

そのまわわ
突っ込んでえ♥

あめっ♥
来こんらさいっ♥

メス犬子宮に
オチンポ入れてえ♥

あはははあははは♥

あはは♥

あはは♥

あはは♥

あはは♥



あーっ

はあっはあっ♡

わがりますかあ？
ご主人様のチンポ
入ってるのあ♡

あーっ

あーっ

ああっクルっ♡

オキッ♡
スゴイの来ッ♡

あーっ

メス犬子宮の一番奥に
精子叩き付けて
はらませてえ♡

ご主人様の赤ちゃん
孕みたいのあっ♡

子宮せつ♡
気持ちいい♡

みてくらせいひい♡
メス犬子宮に
チンポ出し入れえ♡

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ





あ♡主女の性♡
さ♡ん♡

せつかく
ツガイの人間を
よこしたのに...

あらあら...

カチン
カチン



ほん♡
モノ♡

ほんモノの方が
お好みだなんて
あきれた
メス犬ですわね♡

メス犬♡

アハハハ
アハハハ

アハハハ

アハハハ

アハハハ

アハハハ

The End...



おくづけ

著 者 轟真
発 行 sin-maniax
<http://sin-maniax.com>
sinmaniaux@gmail.com
誌 名 犬になった王女さま Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
発行日 2013年06月01日



* 未成年の方の購入及び購読
各種媒体への無断転載を禁止させて
頂きます 予めご了承ください。

QUEST 2 CHERIE COMIC "MA+ING PRINCESS".
PERSON OF LESS THAN AGE OF 18 CANNOT BE
AND DEFEAT "MANIAX" AUGUST 20

